

広島発・瀬戸内海美化大作戦

3つのテーマで全県取り組み

おいても、間接的に生活の中で瀬戸内海の恵みを享受している。「広島県の財産を守る活動に取り組む」「地域美化に貢献する」ことを目的に、本事業に取り組んで

＜支援グッズ紹介＞



『瀬戸内海学習オリジナルテキスト』フルカラー 12ページ 小学校高学年向け

「油吸着材 吸ったらポイ」

「台所用水切りネット」

のぼりサイズ 1800mm×450mm

※ここで紹介した提供グッズは一部です。詳しくは、実施要領・実施申請書にてご確認ください。

わたしたちの財産である「瀬戸内海」の環境保全美化活動を全県的に取り組むことで、子孫にすばらしい環境を残すことを目的に展開する。

活動内容は、「地域清掃・美化」「水質改善・水質保全」「里地・里山づくり」の3つのテーマがあり、一斉清掃や不法投棄撲滅運動、花いっぱい運動、生活排水の学習会など、地域の実情に合わせて活動を選択する。

これらの活動を促進させるためのグッズとして、「アドプトサイン」「花の種」「一斉清掃、撲滅PR用のぼり」「台所用水切りネット」「瀬戸内海学習オリジナルテキスト」の配布を予定しており、活動内容に応じて提供します。

重点メニューは、市町公衛協単位だけでなく支部・地区・学区公衛協で実践できるプログラムである。平成二十三年から、全県共通重点メニューとして新たに三事業がスタートした。新事業の「広島発・瀬戸内海美化大作戦」「万人の食チェック事業」「万人のBESTチェックキャンペーン」と、昨年に引き続き実施する「万人のエコチェック事業」「公衛協発ウォーキング事業」についてを紹介する。

なお、事業実施に係る申請・報告等の様式は、環境協ホームページ（<http://www.kanhokyo.or.jp>）からダウンロードが可能。問い合わせは地域活動支援センターまで。（電話：〇八二二九三一一五二）

平成23年度 重点メニュー紹介

一人のBESTチェックキャンペーン 年間を通じて活動展開へ

県内約一万人の公衆衛生推進委員を対象に実施する事業で、「B：環境美化（BKA活動）」「E：エコ（ECO）」「S：食（SHO）」「K：品数（KU）」「T：公衆衛生推進手帖（T ECHOU）」の活用度チェック」に、年間を通じて総合的に環境美化（B）は、重点メニューの「広島発・瀬戸内海美化大作戦」や「万人のエコチェック」を、重点メニュー「アドプトNETひろしま」など、公共空間の美観の確保につながる活動の実施状況を調査する。

「E」チェック（エコ）は重点メニュー「万人のエコチェック事業」を、食品数チェック（S）は前述の「万人の食チェック事業」におけるチェックを、公衆衛生推進手帖の活用度チェック（T）では、二〇一二年十二月に、二〇一二年

BESTチェックキャンペーンスケジュール

平成23年	6月～	全県共通重点事業重点メニューの実施 推進手帖を活用した重点メニューの継続実施
	12月	2012 公衆衛生推進手帖頒布 公衆衛生推進手帖活用度調査アンケート配布
平成24年	1月	公衆衛生推進委員によるアンケートの記入
	2月	アンケート用紙の提出（市町公衛協事務局）
	3月～	集計・2013 公衆衛生推進手帖製作に反映

公衛協発・ウォーキング事業

「らしさ」を出したルートで楽しく健康に

生活習慣の改善、定期的な運動として最も身近で取り組みやすい運動、それがウォーキング（徒歩）である。

「公衛協発ウォーキング事業」は、公衛協が主体となつたウォーキングで、平成二十二年から重点メニューに加わった。

この事業では、公衛協によるウォーキングの実践状況に応じて二つのコースを設けている。一つの「オリジナル事業実践コース」は、これまで公衛協が主催してきたウォーキング事業や歩け歩け大会などが対象である。一方「環境点検コース」は、歩くルートを選定し、その中で散乱ごみや水辺環境など、気になる

場所や公衛協活動に関わる場所などをチェックポイントに設定。参加者は「見る、聴く、嗅ぐ、味わう、触れる」の五感を使いながらポイントを点検し、評価する。

「公衛協発ウォーキング事業」を実施する公衛協へは、支援グッズとして「ナップサック（一団体に付き二十個）」と「歩数計（一個）」を提供するほか、必要に応じてベスト・腕章の貸し出しを行う。市民・市民の健康づくりのため、参加者の安全に十分配慮しながら、ぜひ多くの公衛協でこのウォーキング事業を実施してもらいたい。

（本紙四面に活動事例を紹介）

＜支援グッズ紹介＞



歩数計（右上）申請につき1個を配布。ベスト（上）腕章（右）はスタッフの目印にちょうどよい貸し出しグッズ



ウォーキング事業のキャラクター「あるくゾウ」

食の安全・安心をめざした「広島県食品自主衛生管理認証制度」

食の安全・安心に対する社会的評価が高まります

- ①消費者から自主的な衛生管理の取り組みへの努力が評価されます。
- ②第三者機関が認証することで客観的に評価され社会的信用が得られます。
- ③食中毒などの発生リスクが低減します。
- ④大掛かりな設備投資をしなくても衛生水準が上がります。

※右表は当会がこれまでに認証した施設名（平成22年3月31日現在）

○問合せ先
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 （財）広島県環境保健協会
環境生活センター分析課 TEL：082（293）1514（ダイヤル） FAX：082（293）8010

カキ作業場（2類）	クニヒロ株式会社 占部水産株式会社 有限会社北吉水産 株式会社ヒロシヨク 倉橋島海産株式会社 マルヒロ水産株式会社 広島県漁業協同組合連合会 株式会社大久加工事業部 株式会社オオノ	加工のり製造業	株式会社やま磯 株式会社三國屋戸内工場 広島海苔株式会社海田工場 丸徳海苔株式会社
弁当・そうざい製造業	株式会社あじかん 株式会社フレッシュセブン本社工場 株式会社フレッシュセブン第二工場 株式会社フレッシュセブン第三工場 わたやごちそうデリカ	菓子製造業（洋生菓子）	パッセンモーツアルト 株式会社やまだ屋
煮豆・佃煮製造業	宝山食品工業株式会社	菓子製造業（和生菓子）	株式会社藤い屋本店工場 株式会社藤い屋広島支店工場 株式会社やまだ屋本店工場 株式会社やまだ屋大野工場 株式会社藤い屋本店店舗実演コーナー
GPセンター	全農広島鶏卵株式会社 三次GPセンター 世羅GPセンター	菓子製造業（その他）	株式会社藤い屋広島支店工場 株式会社やまだ屋本店工場 株式会社やまだ屋大野工場 パッセンモーツアルト